

黒腐病に強く、栽培しやすい秋どり用の寒玉品種

(カネコ交配)

キャベツ

いそかぜ

Cabbage, Isokaze Hybrid



カネコ種苗株式会社

TEL. 027(251)1611(代)

(カネコ交配)
キャベツ

いそかぜ

Cabbage, Isokaze Hybrid

●特性●

- (1) 定植後約70日（播種後約100日）で収穫になる中早生品種です。中間地・暖地の10～11月収穫に最適です。
- (2) 球は光沢のある濃緑色の扁円形で、球尻まで緑色となり市場性に優れます。形状の安定性に優れるため、秀品率が高く、作業性に優れます。
- (3) やや旺盛な生育をするため不良環境でも栽培しやすい品種です。草姿はやや立性で密植栽培しても生育のバラツキが少なく球揃いに優れます。
- (4) 球重は1.5kg程度に良く揃い、一斉収穫が可能です。また、結球後の在圃性に優れ出荷調整も容易です。
- (5) 萎黄病にAタイプの抵抗性で、黒腐病に強い耐病性があります。

●栽培要点●

(1) 播種・育苗

中間地・暖地では播種期が高温となります。発芽揃いを良くするために、発芽までは遮光資材等を利用して、直射日光を防ぎ、温度を下げ、乾燥を防ぐ工夫をします。発芽後は苗床の風通しを良くして、しっかりした苗を育てるようにします。

(2) 肥培管理

生育がやや旺盛な品種のため、肥沃地では元肥窒素を控えた栽培をします。播種時期や畑の状態に応じて加減しますが、目安として10aあたり窒素15～18kg、リン酸18～21kg、カリ15～18kgを基準に栽培します。

(3) 栽植密度

栽植密度は畝間55～60cm、株間30～35cmを標準とします。

(4) 防除

中間地・暖地の10月収穫では、球尻部が腐る株腐病の防除対策を行います。圃場の排水をよくすると共に、外葉が畝をふさぐ頃から薬剤散布を行い、予防防除に努めます。

秋どりで特に問題になる黒腐病は、莖葉にできた傷口から病原菌が侵入し、畑全体に広がる可能性があります。「いそかぜ」は強い耐病性のある品種ですが、発生を未然に防ぐためにも、従来通りの防除を行います。防除のポイントは、予防防除で、台風や大雨の後には出来るだけ速やかに防除を行います。

(5) 収穫

球揃いが良いため、一斉収穫が可能なので効率の良い作業体系を組むことができます。

●栽培作型●

栽培作型は中間地の7月播種の10月中旬～12月上旬収穫、暖地では7月中旬～8月初旬播種の10月下旬～12月中旬収穫に適します。

	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地	○	×		▨				
準高冷地		○	×		▨			
中間地			○	×		▨		
暖地				○	×		▨	

○ 播種期 — 生育期 ▨ 収穫期

カネコ種苗株式会社

〒371-8503 前橋市古市町1-50-12
TEL. 027(251)1611(代)

一般社団法人
日本種苗協会®
登録番号 10-001号

取扱店